

「JFN賞2010」各賞決定！

「企画部門」大賞

TOKYO FM/ショパン生誕200年記念 Panasonic presents
横山幸雄ショパンプロジェクト～世界中に音楽を贈ろう

「CM大賞」

FM福岡「ソワニエ研究室」(60秒)

「統一部門賞・バイク王賞」

FM鹿児島「灰かぶりの青春」(60秒)

TOKYO FMをはじめJFN（全国FM放送協議会）加盟37局が、放送活動並びに新規事業の活性化と質的向上を目指し、社会的影響力や企画力からJFNグループ全体の発展に大きく貢献した局を表彰する「JFN賞」各賞が決定いたしました。

本年度「JFN賞2010」の表彰式は7月15日、TOKYO FMホールで行われ、今年の「企画部門」大賞には、TOKYO FMの「ショパン生誕200年記念 Panasonic presents 横山幸雄ショパンプロジェクト～世界中に音楽を贈ろう」が決定しました。開局40周年の特別企画として、ショパンのピアノ作品全166曲を世界的ピアニスト横山幸雄が16時間かけて演奏するという、これまで類例のないコンサートと生放送番組を企画実施、ショパンの人生ドラマの紹介や多彩なゲストトークなどを織り交ぜた芸術性とエンターテインメント性を兼ね備えた番組を創り上げるとともに、コンサートについては「一人の演奏家が24時間で演奏した曲数」においてギネスブックにも認定され大きな話題性を提供しました。また、コンサートの収益の一部は発展途上国の子供たちに音楽を聴く環境を与える基金にも寄付され、ヒューマン・コンシャス・キャンペーンの一環として寄与するなど、企画の壮大さ、話題性、その充実した内容が、JFNのクリエイティブ力を世に印象付けることに大きく貢献した功績をたたえ、今回の大賞となりました。また優秀賞には、FM北海道の「AIR-Gラーメン開発プロジェクト」、FM沖縄の「ラジオドキュメンタリー 国の特別天然記念物 イリオモテヤマネコ～今語られる真実～」がそれぞれ選ばれました。

そして「CM部門」の最優秀作品に贈られる「CM大賞」は、FM福岡制作の「ソワニエ研究室」(60秒)、第1部門最優秀賞(20秒以内)には、FM山口制作の「顔のむくみ」(20秒)、第2部門最優秀賞(21秒以上)には、TOKYO FMの「恋の広角レンズ・望遠レンズ」(180秒)がそれぞれ選ばれました。

さらにJFN加盟各局が制作、優秀作を決する「統一部門賞」では、今回は「㈱アイケイコーポレーション バイク王」のCM制作を各局競った結果、FM鹿児島の「灰かぶりの青春」(60秒)が最優秀作としてバイク王賞に選出されました。

今回の審査について審査委員長の天野祐吉氏が、

「今回の大賞作品は、方言を使ったCMでしたが、それだけが良かったわけではなく、方言を使ったことで“ぬくもり”が感じられました。そして音から、そこにいる人も見えてきました。これはラジオにとって、とても大切なことです。

ラジオ局は広告収入で成り立っており、ラジオCMを作っている人はラジオ局の財産です。広告主は、物理的な時間ではなく、その時間に込められているクリエイティブパワーを買っているのです。つまりクリエイターを育てることは、ラジオ局の反映につながります。この賞の審査員を20回以上やっていますが、受賞者が同じ顔ぶれではありません。5年後に、今日お会いしたクリエイターの皆様とお会いできるように、各局にはクリエイターを大事に育てていただきたいと思っています。」

と締めくくり、授賞式が終了いたしました。
各賞の結果は次の通り。

◎ J F N 賞・企画部門

「J F N 賞・企画部門」は加盟各局がエントリーした年間の放送・事業・営業活動事例を J F N 各委員会委員長から成る「J F N 賞選考委員会」が選定する。今年は、エントリー 26 社 44 件の中から、先に開催された選考委員会で以下の各賞が決定した。

■大賞

TOKYO FM/ショパン生誕 200 年記念 Panasonic presents

横山幸雄ショパンプロジェクト～世界中に音楽を贈ろう

開局 40 周年の特別企画として、ショパンのピアノ作品全 166 曲を、世界的ピアニスト横山幸雄が 16 時間かけて演奏するコンサートとその生放送番組を企画、実施。放送では、ショパンの人生ドラマの紹介や多彩なゲストトークなどを織り交ぜ、芸術性とエンターテインメント性を兼ね備えた番組とし、コンサートについては、「一人の演奏家が 24 時間で演奏した曲数」においてギネスブックにも認定され、大きな話題性を提供した。また、本コンサートの収益の一部は発展途上国の子供たちに音楽を聴く環境を与える基金にも寄付され、ヒューマン・コンシャス・キャンペーンの一環として、音楽で心を癒す活動にも貢献したことを高く評価。

■優秀賞

FM北海道/AIR-G'ラーメン開発プロジェクト

放送局の枠を超え、放送外収入・放送関連収入を得るためのチャレンジとして、20 数年来のクライアントである地元の製麺メーカーや油脂メーカーと協力し、AIR-G'ブランドのラーメンの商品開発を行った。「さっぽろオータムフェスト」で出店したところ、5 日間で約 3000 食を売るヒットとなり、その後、コープさっぽろでも販売し予定の 3000 袋を完売した（売り上げ 400 万円）。その効果でコープさっぽろ提供の新番組もスタートするなど、結果放送収入の拡大にもつなげ、J F N 各局の収入の多角化の模範ともなった。

■優秀賞

FM 沖縄/ラジオドキュメンタリー 国の特別天然記念物 イリオモテヤマネコ ～今語られる真実～

FM 沖縄の一ディレクターによる、イリオモテヤマネコ発見捕獲者との出会いが発端となり、発見当時新種発見と騒がれたイリオモテヤマネコの長年封印されていた事実を明らかにするドキュメンタリー番組を制作。ラジオならではのフットワークを駆使して多方面の取材を行った結果は貴重な記録番組ともなり、リスナーが環境について考える機会も提供したことは J F N 全体の制作力の高さをアピールすることに貢献した。

■奨励賞

FM 岩手/エフエム岩手「家族の絆キャンペーン」

家族の風化が言われる中、「家族の絆」をテーマに、メモリアルブックの出版・レギュラー番組の放送・コンサートやエッセーコンクールの開催など多角的に事業を展開。エッセーコンクールで最優秀作品をとった盲学校生徒の作品が県紙で大きく報道されたのをはじめ、キャンペーンは広く県民の信頼を集め、岩手県教育委員会も今後の事業継続を希望。売上総計は 1450 万にものぼり、J F N のキャンペーンの模範ともなった。

■奨励賞

FM 香川/SANUKI ROCK COLOSSEUM road to MONSTER bash ～BUSTA CUP～

総勢 61 組のアーティストによるライブを中心に FM 香川の公開生高松の商店街周辺に点在する 7 つのライブスペースを使用して、大型ライブサーキットを実施。放送やトークイベント等も企画し、約 4000 人を動員、売り上げは 1000 万円に達した。本イベントは、四国の夏フェス「モンスタースタッシュ」のプレイベントという位置づけも得て、「売り上げが倍増した」など地元商店街

から大きな評価を獲得するなど、地域の経済活性化に貢献した。

■奨励賞

JFNC/JFN12局との協働制作 環境意識 啓発活動企画ラジアンリミテッドDX ～Re-Style Talk Show Tour 2009『低炭素社会って何だ?』in High School～

38局の人気プログラムのパーソナリティーやまだひさしが、環境省の信任を得て、次世代を担う高校生に向けた地球温暖化防止の普及啓発活動を実施。09年度後半だけで全国の12の高校を巡ってのトークショーやライブイベントを展開した。この活動は、環境保護活動というだけでなく、ラジオ離れの傾向にある高校生をラジオに向けさせる貴重な契機ともなった。

■特別賞

FM岡山/FM岡山 放送事故通期ゼロの達成

放送事故をなくすことがJFNグループの活性化とブランド力アップに貢献するという命題の元、放送事故対策委員会では加盟全社の事故の減少につとめてきた。その中で、FM岡山は、JFNで取り決めた複数者による確認作業を徹底・励行し、事故の起こらない社内体制作り尽力した結果、過去に前例のない放送事故ゼロを達成し、他社の模範となる実績となった。

■地域賞

FM青森/太宰治生誕100年記念朗読ラジオ劇「走れメロス」

2009年生誕100年の年に合わせ、青森が生んだ小説家太宰治の、教科書にも掲載され親しまれている作品「走れメロス」を、FMラジオの特性を強く発揮できる朗読ラジオドラマとして制作。1人の俳優が登場人物全てを演じ分け、音楽と効果音をパーカッションと津軽三味線・尺八・横笛で表現、緊迫感と津軽のにおいを彷彿させる平成の走れメロスに仕立て上げた。地域色を巧みに取り入れた独創性溢れる制作力を証明した。

■地域賞

K-MIX/「K-MIX 2ストライク1ボール」における「しずおかるた」の企画、製造、販売

K-MIXと地元企業がコラボレーションして制作・製造した商品をリスナーのロコミで認知させ、人気商品に成長させるという、自社制作の午後生ワイド番組の人気コーナーで、K-MIXオリジナルの郷土かるた「しずおかるた」を制作。予想をはるかに超える約1000セットを売り上げた。年末には浜松市内のショッピングモールで「しずおかるた大会」も実施しイベント・ソフトとしての可能性も見出すなど、番組主導の企画がさまざまな利益を生み出すことを実証した。

■地域賞

FM A I C H I /エフエム愛知エコキャンペーン「Let's エコメンド」

開局40周年の活動の一つとして社内をあげてエコロジー活動を展開、まずは自分から、社員からを合言葉にパーソナリティーや外部スタッフにも呼び掛けてエコ活動を実践し、会社としてエコ検定取得、エコユニット登録、名古屋市エコ事業所認定、グリーン電力、エコイベントなどの取り組みを行った。同時に、リスナーにもこのエコ行動を紹介することで、地域のエコ行動意識の高揚に努め、キャンペーンの集大成として09年12月に冊子「エコメンドブック」を5万部発行、県内各社やリスナーに配布した。放送局とリスナー、さらには地元が一体となつたのエコロジー活動に対する啓蒙に大きく貢献した。

■地域賞

FM滋賀/「マザーレイクストーリー～伝説の琵琶湖湖族たち～」

地元FM局として、地域の知られざる歴史を取り上げ、より深く滋賀について知ってもらうための特番企画「マザーレイクストーリー」を構想し、その第1弾として本番組を制作。室町時代、琵琶湖西岸に「湖族」という海賊が絶大な権力を持っていたという、その当時の模様をラジオドラマで再現しながら、現代でも地域活性化運動として受け継がれる「湖族」の誇りを浮き彫りにし、地元の文化継承と郷土愛の涵養に貢献した。

■地域賞

FM鹿児島/校内放送ジャック企画「Jackkk Hour」

県内の高校の放送室に、民生機のミキサーなど学生でも揃えられる機材を持ち込み、FM鹿児島

のパーソナリティーも出張、放送部員と一緒に“ドッキリ”放送するという期間限定1クルの校内放送ジャック企画を実施。校内放送の様子は、後日FM鹿児島番組でも紹介した。訪問した学校では、専門学校や携帯メーカーなど高校生ターゲットのスポンサーのチラシを配布し、新規スポンサーの獲得や休眠していたスポンサーの復活を実現し、ラジオの若者離れの対策としても効果を発揮した。

◎ JFN賞・CM部門

JFN加盟37社のCM制作の向上とCMを通じて地域社会の文化に貢献することを目的として優秀CM作品を表彰するのが「JFN賞・CM部門」。

今年の審査対象は2009年6月1日から2010年5月31日までの間、JFN加盟各局が自社で企画または制作、放送したCM。斬新な発想や演出と技法、地域性、公共性、影響力（CM効果）が審査基準となる。エントリー総数115本のなかから大賞のほか、部門各賞（20秒以内、21秒以上）、加盟各局が協賛企業のCM制作を競う統一部門が決定した。今年は㈱アイケイコーポレーション バイク王のCM制作を競った。審査委員長の天野祐吉氏（コラムニスト）、小野田隆雄氏（コピーライター）、弘兼憲史氏（漫画家）の2名の特別審査員をはじめ企業審査員、JFN各局のCM制作担当者37名により公開審査会が行われ、以下の各賞が決定した。

【JFN CM大賞】

FM福岡 「ソワニエ研究室」（株式会社 FM福岡メディアント／60秒）

【第1部門 最優秀賞】※20秒以内（エントリー数＝54本）

FM山口 「顔のむくみ」（有限会社ウエット／20秒）

【第2部門 最優秀賞】※21秒以上（エントリー数＝24本）

TOKYO FM 「恋の広角レンズ・望遠レンズ」

（キヤノンマーケティングジャパン株式会社／180秒）

【統一部門 バイク王賞】 エントリー数 60秒＝37社37本

FM鹿児島 「灰かぶりの青春」（㈱アイケイコーポレーション／60秒）

【奨励賞】

○地域ブロック賞

- ・北海道・東北 AIR-G' 「広島県人」（ダイワ整備機工／20秒）
 - ・関東・甲信越・静岡 RADIO BERRY 「デート」（栃木県自動車整備振興会／20秒）
 - ・中部・北陸 FMとやま 「親子」（トナミ運輸インターネットサービスコーラルネット／20秒）
 - ・近畿・中国・四国 FM大阪「夫婦」（恩地食品／60秒）
 - ・九州・沖縄 FM鹿児島「さつま無双『決意』」（さつま無双／60秒）
- 出演者賞：FM鹿児島 「さつま無双『決意』」（さつま無双／60秒）
- コピー賞：FM沖縄 「証言」（㈱アイケイコーポレーション／60秒）

【制作者審査員賞】

FM福岡 「ソワニエ研究室／腹学」（株式会社 FM福岡メディアント／60秒）